

研究名： 肝移植後の内服管理・ドレーン管理に対し患児の家族が抱く 困難感

1．研究の目的

肝移植後は、拒絶反応が起こらないようにするため、免疫抑制剤の確実な内服が必要となります。また、術後3ヶ月間は胆管ドレーンを留置するため、退院後にご自宅での管理が必要となります。免疫抑制剤の管理・胆管ドレーンの管理は、ご家族にとって経験がないことであるため、看護師が行う指導の中でご家族が困難感を抱くことがあります。

今回、肝移植を受け退院する患者さんのご家族が、内服管理・ドレーン管理の指導時にどのような困難感を示したかを明らかにすることで、患者さんにご家族にとってよりよい支援内容を検討していきます。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて肝移植後、2018年1月1日～2019年12月31日までに退院した患者さんのうち、看護師からご家族に内服管理・ドレーン管理の指導を行った方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年1月

研究方法：肝移植後、2018年1月1日～2019年12月31日に退院した患者さんの診療録から、看護師による内服管理・ドレーン管理の指導時のご家族の発言を抽出し分析します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、病名、退院日、退院指導時の反応、等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部9階西病棟 桑原 美奈子
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：3950）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部9階西病棟 桑原 美奈子